

首都圏の市民活動団体に関する調査

—調査結果報告書—

日本学術振興会科学研究費 基盤研究（B）（2005～2008年度）

**「市民エージェントの構想する新しい都市のかたち
——グローバル化と新自由主義を越えて——」**

2006年度報告書

**研究代表者 町村敬志編
(一橋大学大学院社会学研究科)**

2007年3月

はじめに

本報告書は、首都圏で活動している市民活動団体を対象に本調査グループが2006年9～10月に実施した質問紙調査に関して、その主要な結果を掲載するとともに、もっとも基本的な分析結果を公表するものです。

日本の市民社会は今、どのような方向へ向かおうとしているのでしょうか。政府の限界、市場の限界が明らかになるなか、市民活動団体の力量と責任は確実に増す一方で、管理や監視の強化、商業化など、市民活動団体はさまざまな困難や課題に直面しています。今回の調査は、首都圏で活動されている市民活動団体の全体像を明らかにすることにより、市民社会の可能性と困難に関する議論にしっかりとした基盤を用意することを目的として企画されました。調査の基本的な目的や方法については、序章をご覧下さい。

前例のあまりない調査だけに、その実施に当たってはさまざま試行錯誤が繰り返されました。この過程で実に多くの皆様のご協力をいただきました。基本資料の作成に当たり、埼玉大学共生社会研究センターからはその貴重な蔵書資料の閲覧に際して多大の便宜をお図りいただきました。資料整理においては梁奈美さんを始めとする多くの方のご協力をいただきました。厚く御礼を申し上げます。そして何よりも、今回の面倒な調査に対してご回答やご助言・ご批判の形でご協力を賜りました多くの団体関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。

本書は、いわば第一次報告に当たります。引き続き、分析を深めてまいりますとともに、さまざまな形で結果を社会へと還元していくことを計画しております。よりよい形に仕上げていくためにも、忌憚のないご批判、多くのご助言等をいただけますと幸いに存じます。

なお調査実施に当たっては、独立行政法人日本学術振興会科学研究費・基盤研究(B)「市民エージェントの構想する新しい都市のかたち——グローバル化と新自由主義を越えて——」(平成17年度～20年度)(研究代表者・町村敬志)を使用したことを付記しておきます。

2007年3月

日本学術振興会科学研究費 基盤研究(B)
「市民エージェントの構想する新しい都市のかたち
——グローバル化と新自由主義を越えて——」

研究代表者 町村敬志(一橋大学大学院社会学研究科)
プロジェクト・メンバー同

●お問い合わせ先

186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学大学院社会学研究科 町村研究室
電話・FAX 042-580-8642 電子メール cs00035@srv.cc.hit-u.ac.jp
URL <http://homepage3.nifty.com/machimura/>

目 次

はじめに	1
目次	3
序章 「市民活動団体」調査の課題と方法	5
第1部 市民活動団体の組織と行動	
第1章 対象団体の基本的特徴——基本集計の結果から——	12
第2章 市民活動団体は何を活動のテーマとしているか	20
第3章 市民活動団体はどのような活動をしているか	26
第4章 「運動かパートナーシップか」の二者択一を超えて ——諸団体の布置と関係——	32
第5章 市民活動団体の組織構造	38
第6章 市民活動団体と専門知識・スキル	44
第2部 市民活動団体のヒストリーと空間	
第7章 市民活動団体のルーツ	50
第8章 リーダー層の個人的経験——運動・活動の記憶——	56
第9章 表象されるソフトな空間構造 ——<活動の空間>を生み出す空間行動の動態——	62
第10章 首都性のもたらすもの ——首都圏で活動を展開する上でのメリット・デメリット——	70
第3部 変化する構造の中で——限界と新しい可能性を探る	
第11章 市民活動団体を取り巻く舞台のかたち ——変化する政治的背景と活動アリーナの変容——	76
第12章 市民活動団体と行政・企業との関係	82
第13章 団体リーダー層の政治意識——<保守—革新>の現在——	88
第14章 持続可能な市民活動の可能性を求めて——市民活動団体の現状と課題——	94
調査票・単純集計	110

執筆者一覧（50音順、所属の後の数字は執筆分担章）

相川陽一（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程）	3
植田剛史（一橋大学大学院社会学研究科 修士課程）	6
上野淳子（上智大学大学院文学研究科社会学専攻 博士後期課程）	7
神山育美（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程）	14
寺田篤生（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程）	9
仁平典宏（東京大学大学院人文社会系研究科 COE 特任研究員）	4
町村敬志（一橋大学大学院社会学研究科）	序・1・11
松林秀樹（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程）	10
丸山真央（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程、日本学術振興会特別研究員）	13
村瀬博志（一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程、日本学術振興会特別研究員）	2・5・12
山本唯人（政治経済研究所研究員）	8